

EC)首脳会議から帰国  
する14日以降に首相も出席して両院議員懇談会を開催する方針。TPPは国論を二分し国民生活を大きく左右する問題で、国会決議の是非を含めた国会の役割も大きな論点となる見込みだ。

# 一層の情報開示要求

## 牛肉輸入規制緩和など懸念

TPP交渉参加に慎重な与党議員らでつくる「TPPを慎重に考える会」(会長＝山田正彦前農相)は11日夜、野田佳彦首相の「関係国との事前協議」の方針表明後に国会内で記者会見し、政府に一層の情報開示を求め、関係国からの要求内容の精査、懸念事項の洗い出し、事実確認を進めていく方針を示した。山田前農相は、牛海綿状脳症(BSE)に関連する輸入牛肉の規制緩和問題などを懸念事項に挙げ、「長い戦いの始まりだ」と強調した。また、「首相の交渉参加表明は避けたかった。事前協議にとどまり、はっきりした」とも述べた。篠原



野田首相の表明を受けて会見する山田前農相らTPPを慎重に考える会のメンバー

孝氏は、国民への情報提供などを政府に求めた党経済連携プロジェクトチーム(PTT)の提言を踏まえ「首相は党提言を全面的に取り入れてくれた。われわれもさらに身を引き締め、TPPとは何かをきちんと精査していく」と強調した。

野田佳彦首相が「TPP交渉参加に向けて関係国との協議に入る」と表明したことに対し、野党各党は相次いで抗議声明を発表した。

# 野党から相次ぐ抗議

野田佳彦首相が「TPP交渉参加に向けて関係国との協議に入る」と表明したことに対し、野党各党は相次いで抗議声明を発表した。

ワイから帰国後、懇談の場を設ける方向で調整している。

## 首相対応を批判 自民党総裁

自民党の谷垣禎一総裁は12日、京都市で開かれた党府連の会合であいさつし、TPPで方針を決めた野田佳彦首相の対応について「あまりにも議論が整理されていない。

### 自民

自民党の総合農政・貿易調査会(加藤紘一会長)と「TPP参加の即時撤回を求める会(森山裕会長)は12日、野田首相の表明に対し、「絶対に認めない」とする抗議声明を発表した。声明では、野田首相が「参加でなくて協議に入る」「協議を開始し結論